

令和2年11月25日

代表者 千葉 良秋 様

視察者(代表)氏名 千葉 良秋

視 察 報 告 書

このことについて、次のとおり報告します。

- 1 期 間 令和2年11月5日～令和2年11月5日 (1日)
2 視 察 先

狭山市堀兼 391-3 JAいるま野 さといも選果場

3 調査事項

さといも選果場の稼働状況

- 4 観察参加人数 3人
参加者は次のとおり

千葉 良秋、田村 秀二、新良 守克

5 調査概要

いるま野農業協同組合管内のさといも生産は、昭和40年代より本格的に栽培され、土質に合っていることもあり、食味に優れた高い品質の里芋が生産されている。生産者の努力により、厳正な規格等級の選別が行われ、全国的にも高い評価を受けているが、特に選別作業は時間がかかり、その改善が大きな課題となっていた。

作付面積の維持・拡大、生産者の労働力軽減やさらなる高位平準化を図るため、この選果施設の建設が行われた。



(別添)

調査概要

【施設名】 JAいるま野 さといも選果場

【事業主体】 いるま野農業協同組合

【所在地】 埼玉県狭山市大字堀兼391-3

【設備概要】

敷地面積 : 4,519,66 m²

構造 : 鉄骨造 2階建

床面積 : 1階 3,037,50 m²

2階 209,08 m²

設備概要 : 簡易デパレタイザー 360 コンテナ /時間

: 根切り機 500 kg /時間

: 形状選別機 5トン /時間

: 1次選別 作業員 小玉、規格外 取り除く

: 2次選別 2画面外観センサー 6玉 /秒

: 3次選別 作業員 最終選別

: 箱詰め 自働秤量機 162箱/時間

: パレット積み ロボットパレタイザー 585箱/時間

【総工費】

8億8000万円



専用のコンテナで集荷され生産者ごとに集荷票が添付され区分して選別される。



選別機投入部へパレットに積載された
状態でフォークリフトで搬入される。

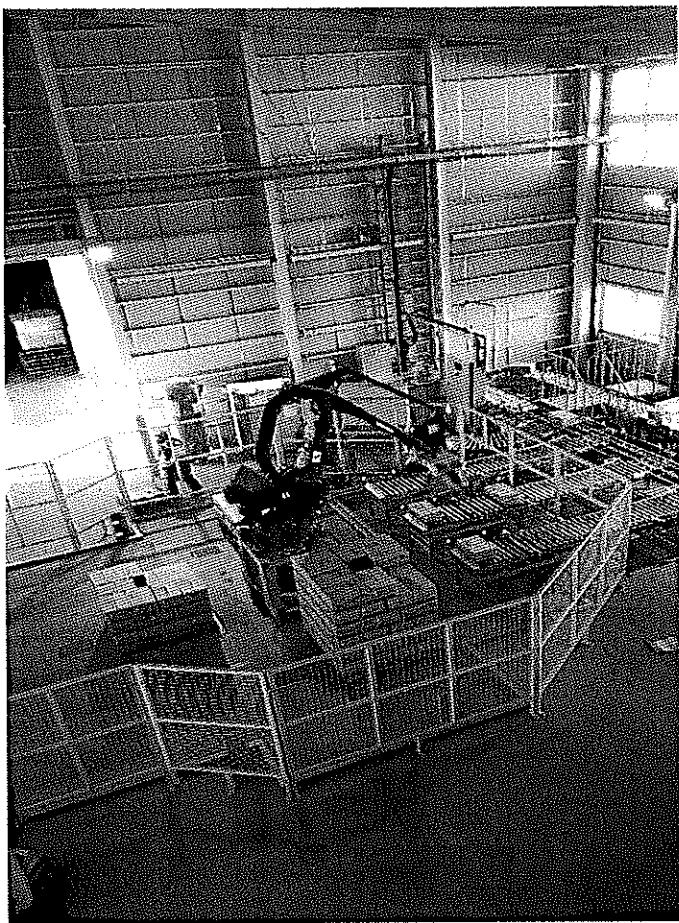
簡易デパレタイザーにより投入ローラ
ーコンベアに乗せられる。



入手による選別を経て画像センサー
により自動選別される。



自動秤量機により 10 キログラム
単位で箱詰めされる。



箱詰めされたさといもはローラーコンベアにより、児童シール機を経由しパレタイザーロボットへ運ばれパレットに自動で積まれる。

【利用者数】

狭山、所沢、川越など、いるま野管内340名の生産者が利用

【利用料金】

10キログラム1箱あたり250円

【1日の最大処理量】

10キログラム箱 4,000ケース

【所感】

日本で最大級のさといも選果場とのことであった。近代的選果施設は農家にとって時間と手間のかかる選別工程を肩代わりする自動化施設であり、生産者の労働力軽減や分業化による作業効率の改善が期待される。今後は、施設の利用拡大、また小規模生産者は、まだまだ自宅の作業所で選別していることもあり、高水準のブランド力を継続してゆくための将来展望をしっかりと構築してゆくことが重要であると思われる。

本年スタートした新進の施設に農家所得向上の先駆けとなることを期待するものである。